

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 高等部／教科：国語

『自分で必要な情報に気づき、具体的な情報を聞きとってメモを取ろう！』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・高等部1年 男子生徒
 - ・教師の問いかけに対して、自分の意見や考えを答えることができ、わからないときは、自分から質問をすることができる
 - ・『いつ』『どこ』『だれ』『なにをやる』が入った文を聞いて、『いつ』『どこ』『だれ』の内容をメモ帳に書く
 - ・「よろしくお願いします」や「9月25日水曜日」など、言われたことをそのままメモ帳に書くことがある
 - ・待ち合わせをするときに、例えば「大分駅に集合」と言われたとき、メモ帳に『大分駅に集合』と書く
- そこで本題では以下の望む姿を設定した
 →具体的な情報(例えば、大分駅の改札口前に集合など)が必要であることに気付いて、相手に質問をするなどして、情報を聞きながらメモを取る

2. 教材の概要 教材：『待ち合わせをしよう！』

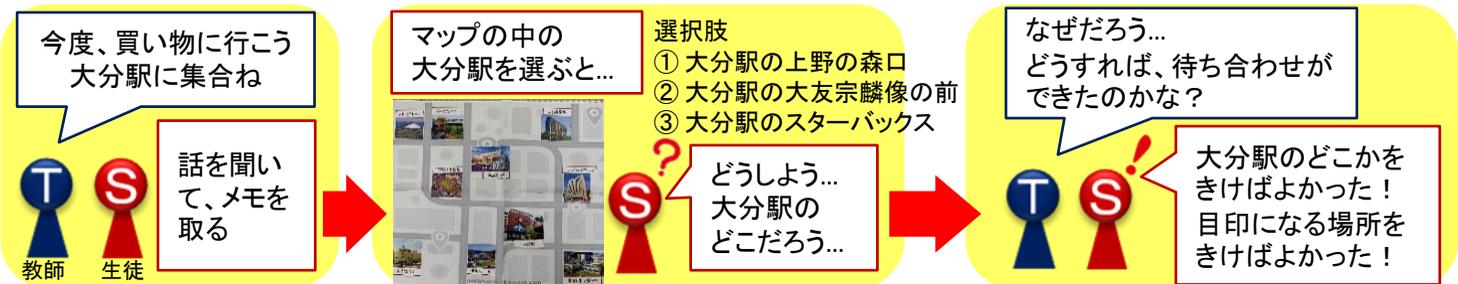
話を聞いてメモを取るときに、相手に質問するなどして具体的な情報を聞き取り、それを元に地図上から待ち合わせ場所や時間が書かれた封筒を選ぶと、正解の場合は『待ち合わせ成功カード』が入っているという仕組みの教材

3. 授業のポイント

ポイント1 自分で具体的な情報(大分駅の友宗麟像前など)が必要だと気付くための、教師の働きかけの工夫

【自分で具体的な情報が必要だと気付くためにはどうすればいいかな？】

- ・待ち合わせの情報を伝えるとき、あえて足りない情報を伝えるようにする(おおまかな場所：大分駅など)
- ・待ち合わせ先には、具体的な場所を複数準備しておき、具体的な情報が必要な状況をつくる
- ・生徒が困った場面を捉えて、生徒自身が「なぜ」について考えることができるように問いかける



授業構想チェックシート 意欲チェック 7. 教師の働きかけについて⑫⑬

ポイント2 メモを取るときに、必要な視点や具体的な内容、書き方の工夫などを、友だちと学び合うための教具の工夫

【メモを取るときに必要な情報や書き方の工夫を、友だちと学び合うためにはどうすればいいかな？】

- ・ワークシートを用意して、各視点(いつ、どこ、など)の具体的な内容や、書き方の工夫点(コツ)を書き込めるようにする
- ・全員で具体的な内容や書き方の工夫点を出し合って、掲示用のシートに書き込み、友だち同士で共有できるようにする
- ・自分のワークシートにも書き込んでいくことで、メモを取るときに視点を増やして、工夫して書けるようにする

導入の場面で復習

視点の具体的な内容

メモを取るときのコツ

活動

活動の中で書き留めたメモを見て、具体的な内容を出し合う

終末の場面で共有

メモのコツ(書き方)

筒条書き
9/25(水)
9:50
AM PM
1:00 13:00
ひらがな、カタ

友だちの書き方などを参考にしたり、「なにをやる」についての情報を書いたりすることができた。

買ひもの

〇〇さんと

9/25 水

10:00

大分駅

おおともそうりんぞう

授業構想チェックシート 意欲チェック 5. 学習環境・教具について⑩